

# 令和7年度 自己評価・施設関係者評価

幼保連携型認定こども園 はるまちこども園

## 1. 保育理念

子どもたちの主体性を尊重し、子どもの最善の幸せを願いながら保護者や地域社会と共に歩める保育を目指す。

## 2. 運営方針・目標

- ・保育理念を実現するため、子どもを中心に保護者と保育者が共に育ち合えるこども園を目指す。
- ・保護者、地域と連携を大切に子どもたちをはじめ人から愛されるこども園をめざす。
- ・子どもたちの幸せを願い職員は子どもの姿を学び取りながら、質の高い保育を追求していく。  
(子どもの良き理解者であること)

## 3. 保育方針

- ・子どもが心身ともにその子らしく成長することを見守る。
- ・遊びを通し、生きる根っ子を育ませる。
- ・子ども自身のもつ自己表現、主張を十分に発揮できる力を養う。

## 4. 評価項目の達成及び取り組み状況

A	大変よい
B	よい
C	一部検討を要する
D	改善を要する

項目	内容	評価	取り組み状況
保育・教育目標について	本園の理念・目標・方針が職員に周知されているか	A	・保護者には入園説明会、4月の園だより、ホームページ上で伝えている。発信を強めるだけでなく、園の方針に保護者自らが興味を持ってもらえるよう行事等の園の思いも伝えてきた。
	本園の理念・目標・方針が保護者に周知されているか	B	
	理念・目標・方針に基づいた教育保育が行われているか	A	
教育・保育の計画	指導計画は乳幼児の心身の発達を踏まえ一年間の見通しを持った内容になっているか	A	・「子どもにとって」の目線で日々の保育や行事を無理のないように進めた。また、あえて努力が必要な場面も作り子どもの頑張る力を引き出した。
	子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえ無理なく進めているか	A	

項目	内容	評価	取り組み状況
子どもたちの 発達援助	子ども一人一人の健康状態や発育・ 発達の状態を把握し、職員間で共有 されているか	A	・子どもたちの健康状態等、アプ リなども利用して共有できた。
	子どもたちが、安心感を持って過ご し、自分の気持ちを安心して表すこ とができるよう留意しているか	A	・可能な限り子どもとの個別の時 間や小集団での活動を取り入れ た。またそれに必要な環境も新た に整えた。
	子どもたちの興味や関心に沿って環 境が工夫され夢中で遊ぶことを大切 に考えているか	A	・子どもたちの頑張りが園内に伝 わるようにクラスの様子を共有 し、お互いを支え合いながら活動 していた。
	子どもたちの「やってみたい」「知り たい」気持ちを高め、チャレンジし てみることや最後までやり抜くこ とができるような援助をしているか	A	
	子どもたちが身近な自然の美しさや 不思議さを五感で感じる体験が出来 るような教育・保育が展開されてい るか	A	・身近な自然の中でダイナミック に遊んだり、自然物を製作に使用 したりとそれぞれの年齢に合わせて 自然を楽しんだ。
	配慮が必要な子どもが安心して生活 できる保育環境が整備され、教育・ 保育の内容や方法に配慮されている か	A	・専門職の方に話を聞き、可能な 限り園内で実行してみた。
職員面の連携等 について	子どものことについて、保育者同士 で話し合い、クラスをこえて情報の 共有がされているか	A	・設定されていた会議以外にも職 員間で進んで子どもの情報共有の 時間を設けていた。
保健・安全管理 について	園内外が清潔で心地よい空間になっ ているか	A	・日々の清掃に加え年間3回の大 掃除を行っている。また、高所の 窓掃除は業者依頼も行っている。 ・インスタグラム等、園外への配 信は何度もの確認を行った。園内 での個人情報の取り扱いを今後更 に徹底する。 ・子どもの怪我は、全職員で共有 し誠意を持って対応している。 ・色々な場面に臨機応変に対応で きるよう課題を変えて研修を行っ た。
	個人情報の取り扱いについて、しっ かりと守られているか	B	
	園で起きた事故・怪我に対して誠意 を持って対応しているか	A	
	事故予防・救急対応・火災・地震・ 不審者侵入等に臨機応変に対応出来 るよう、研修受講や訓練が行われて いるか	A	

項目	内容	評価	取り組み状況
保護者との連携 について	園からのおたよりやその他の方法で、日々の子どもの様子を伝えているか	A	・動画、ドキュメンテーション、おたよりなど色々な方法で子どもたちの様子を配信した。
	個々の子どもの様子を連絡帳や直接的に伝え合っているか	A	・保護者自らの話には十分な対応が出来たが、自らの発信が少ない
	保護者の子育て感を聞き取り、連携して子育てにあたっているか	B	方への発信しやすい園の雰囲気作りを大切にしたい。
地域子育て支援 について	地域における子育て家庭に心を寄せ気軽に立ち寄る雰囲気があるか	A	・子育て支援「ひだまり」でのリピーターが増え、そこからの入園希望者も増えた。
小学校との連携 について	円滑な接続のため小学校への訪問・交流を実施しているか	B	・園の行事や学校のカリキュラムの調整が難しく交流の回数が減ってしまった。 ・職員が近隣の小学校へ訪れ授業の様子を確認し日々の保育の見直しを行った。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
理念・目標・方針の周知	・日々の保育や行事等に園の思いを込めた計画を行い、しっかりと保護者にも共感してもらえるよう発信する。
保護者との連携について	・どんなことでも園に相談していただけるよう、日々の関わりをより丁寧に行う。
配慮が必要な子どもに対して	・継続的に園内研修で学び園全体で専門性を高める。 ・保護者にも園での姿を伝え、園と家庭と時には専門機関を利用し子どもが、その子らしく過ごせる環境を整える。

## 6. 施設関係者評価委員のご意見

- ・ 在園児保護者よりいただいたご意見  
別紙 保護者アンケート結果の通り。

こども園における自己評価・施設関係者評価の結果がまとまりましたので  
ご報告いたします。自己評価・施設関係者評価の結果を踏まえ、今後の  
教育・保育の質の向上並びにこども園の資質向上に努めて参ります。